

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2010-264143(P2010-264143A)

【公開日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-047

【出願番号】特願2009-119336(P2009-119336)

【国際特許分類】

A 47 B 77/02 (2006.01)

【F I】

A 47 B 77/02

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月30日(2012.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

長尺材を枠組みした骨組みとなるフレームを有するキッチンキャビネットであって、前記フレームにおける後面側に配置されている長尺材は、壁面の所定高さ位置に固設されたブラケットに掛止可能に構成されていることを特徴とするキッチンキャビネット。

【請求項2】

前記ブラケットは、壁面へ固定する固定片と、該固定片の上端から前方へ突出する載置片と、該載置片の前端で立ち上がる立上片を備えていることを特徴とする請求項1に記載のキッチンキャビネット。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の詳細な説明】

【発明の名称】キッチンキャビネット

【技術分野】

【0001】

本発明は、キッチンキャビネットに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、この種のキッチンカウンターとして、壁面に固定したブラケットに、シンクと調理器を備えたカウンター本体を載置した構造のものが特許文献1に開示されている。

また、特許文献2には、壁に固定したハンガーに、カウンター本体の後側に設けた取付片を引っ掛けて係止させる構造が開示されている。

また、特許文献3には、四角柱状の骨組みに、天板を載置した構造の台所装置が開示されている。

【先行技術文献】

【特許文献】**【0003】**

【特許文献1】特開平11-127991号公報

【特許文献2】実開昭60-154089号公報

【特許文献3】特開昭60-12014号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

上記特許文献1,特許文献2,特許文献3に開示されている構造を組み合わせたとしても、軽量化したキッチンキャビネットを壁掛け式にする構成は発想できないが、キッチンキャビネットを壁掛け式にしようとすると、強度の大なる大型のブラケットが必要となり、施工が困難なものとなってしまうという新たな問題点がでてくる。

【課題を解決するための手段】**【0005】**

本発明は、壁掛け式で設置できるキッチンキャビネットの提供を目的とし、この目的の少なくとも一部を達成するために以下の手段を採った。

本発明のキッチンキャビネットは、長尺材を枠組みした骨組みとなるフレームを有するキッチンキャビネットであって、

前記フレームにおける後面側に配置されている長尺材は、壁面の所定高さ位置に固設されたブラケットに掛止可能に構成されている

ことを要旨とする。

【発明の効果】**【0006】**

本発明のキッチンキャビネットは、骨組みとなるフレームを有し、このフレームを構成する長尺材を、壁面の所定高さ位置に固設したブラケットに掛止することで、フレームを壁面に取り付けることができ、壁掛け式のキッチンキャビネットの設置が可能となる。

【0007】

また、本発明のキッチンキャビネットにおいて、前記ブラケットは、壁面へ固定する固定片と、該固定片の上端から前方へ突出する載置片と、該載置片の前端で立ち上がる立上片を備えているものとすることもできる。

こうすれば、フレームの後面側の長尺材をブラケットの載置片上に載せると、前側にブラケットの立上片が配置されるため、フレームがブラケットから外れることなく、ブラケットを介し良好にフレームが壁面に支持される。

【図面の簡単な説明】**【0008】**

【図1】キッチンキャビネットの設置完成状態の斜視図である。

【図2】キッチンキャビネットの骨組みとなるフレームと、遮蔽部材の分解斜視図である。

【図3】フレームを構成する前面側上部長尺材12と縦枠材18aと上部連結長尺材14aの連結部分の拡大図である。

【図4】前面側上部長尺材12と縦枠材18aと上部連結長尺材14aの連結前の分解図である。

【図5】壁面に固設したブラケットにフレームの長尺材を掛止した状態の要部断面拡大構成図である。

【発明を実施するための形態】**【0009】**

次に、本発明を実施するための形態を実施例を用いて説明する。

図1は、システムキッチンの設置状態の斜視構成図であり、システムキッチン1は、複数の引出し3,3,3を備えたキッチンキャビネット2の上面に、カウンター4が設けられ、このカウンター4には、水栓6を備えたシンク5と、コンロ7が設けられている。

また、図1において、図中8は、引出し3の下方の前板10の底側に設けられた遮蔽部材であり、図中9は、側面に取り付けられた側板である。

【0010】

このキッチンキャビネット2は、骨組みとなるフレーム11を有し、このフレーム11と遮蔽部材8の分解図を図2に示す。

フレーム11は、金属製の角パイプ状の複数の長尺材を一体状に枠組みして軽量化されており、前面側上部長尺材12と前面側下部長尺材15の左右端が縦方向の縦枠材18a, 18cに連結され、また、後方側の後面側上部長尺材13と後面側下部長尺材16の左右端が縦方向の縦枠材18b, 18dに連結されて、縦枠材18a, 18b間には、上端側に上部連結長尺材14aが連結され、下端側に下部連結長尺材17aが連結されている。また、縦枠材18cと縦枠材18d間には、上端側に上部連結長尺材14bが連結され、下端側には下部連結長尺材17bが連結されて枠組みされている。

【0011】

図3には、前面側上部長尺材12と縦枠材18aと上部連結長尺材14aの連結部分の拡大図を示し、図4には、連結前の分解図を示す。

縦枠材18aは、外側の外板部180と内側の平行な内板部181の一端側が外直交板部182でコの字状に一体化されており、外直交板部182と平行に内直交板部183が設けられて、縦枠材18aは略角パイプ状に形成されている。

この縦枠材18aの外板部180には上下方向に間隔を置いて、ネジ31の頭部より大径の大径孔184, 184が貫通形成されており、内板部181の大径孔184, 184と対向する位置には、ネジ31の頭部より小径の小径孔185, 185が貫通形成されている。

また、内直交板部183にも、ネジ31の頭部より大径の大径孔186が貫通形成されており、外直交板部182の大径孔186と対向する位置には、ネジ31の頭部より小径の小径孔が形成されている。

【0012】

一方、角パイプ状の前面側上部長尺材12の内周底側には締め付け孔部120が形成されており、また、角パイプ状の上部連結長尺材14aの内周側の左右には締め付け孔部140, 140が形成されている。また、前面側上部長尺材12の下方に配置されて縦枠材18aに連結される幕板材24の内周底側にも締め付け孔部240が形成されている。

【0013】

縦枠材18aの大径孔184に外側からネジ31を入れて、ネジ31を小径孔185に通し、ネジ31を締め付け孔部120に締め付けてゆくことにより、前面側上部長尺材12がネジ31により縦枠材18aに締め付け固定されるものである。また同様に、ネジ31を大径孔184から小径孔185を通して締め付け孔部240に締め付けることで、幕板材24を縦枠材18aに固定することができる。

また、直交する内直交板部183の大径孔186にネジ31を入れて、ネジ31を外直交板部182の小径孔に通し、ネジ31を締め付け孔部140に締め付けてゆくことにより、上部連結長尺材14aを縦枠材18aの外直交板部182に固定することができる。

【0014】

この縦枠材18aと他の縦枠材18b, 18c, 18dは同様な構造であり、縦枠材18bにネジ31を介して後面側上部長尺材13, 後面側下部長尺材16, 上部連結長尺材14a, 下部連結長尺材17aをそれぞれ連結固定することができる。また、縦枠材18cにネジ31を介して前面側上部長尺材12, 前面側下部長尺材15, 上部連結長尺材14b, 下部連結長尺材17bをそれぞれ連結固定することができる。また、縦枠材18dにネジ31を介して後面側上部長尺材13, 後面側下部長尺材16, 上部連結長尺材14b, 下部連結長尺材17bをそれぞれ連結固定することができる。

【0015】

なお、フレーム11には、縦枠材18a, 18cと平行状に角パイプ状の仕切り縦枠材19, 19, 19が内側に間隔を置いて縦方向にそれぞれ設けられており、また、後方側

の縦枠材 18 b , 18 d 間にも平行状に仕切り縦枠材 19 , 19 が設けられており、前方側および後方側の各仕切り縦枠材 19 , 19 , 19 の上端および下端には、それぞれ前後方向に仕切り前後枠材 20 , 20 , 20 が連結固定されている。

【0016】

また、前面側下部長尺材 15 から後面側下部長尺材 16 に向かって前後方向に水平に延びる補強枠材 21 , 21 が複数本底側に設けられており、この補強枠材 21 と平行状に前後の仕切り縦枠材 19 , 19 間に複数のレール材 22 , 22 が設けられて、骨組みとなるフレーム 11 が形成されている。

【0017】

このフレーム 11 は、壁面 W に予め固設した、例えば 2 個のブラケット 25 , 25 に掛止して壁面 W に取り付け施工できるものである。

壁面 W の所定高さ位置に水平な基準線 R を設け、この基準線 R に沿って左右に間隔を置いて 2 個のブラケット 25 , 25 をそれぞれネジ 30 を用いて壁面 W に固定することで、2 個のブラケット 25 , 25 は水平状に壁面 W に固設されるものである。

【0018】

この各ブラケット 25 は、図 5 に拡大断面図で示すように、ネジ 30 により壁面 W に固定される固定片 26 の上端に、前方側へ略水平に突出する載置片 27 が一体形成され、載置片 27 の前端に、上方へ一体状に立ち上がる立上片 28 が形成されたものである。

なお、ブラケット 25 の固定片 26 には、ネジ 30 を通す通し孔 26 a が形成されている。

【0019】

このように予め水平な基準線 R に沿って水平状に 2 個のブラケット 25 , 25 を壁面 W の所定高さ位置に固設しておき、この状態で、フレーム 11 を持ち上げて、フレーム 11 の後面側上部長尺材 13 を、ブラケット 25 , 25 に掛止すことができる。

掛止状態では、フレームの後面側上部長尺材 13 が、図 5 に示すように各ブラケット 25 の載置片 27 上に載置され、この状態で、載置された後面側上部長尺材 13 の前面にブラケット 25 の立上片 28 が立ち上がるため、フレーム 11 は前側にずり落ちることがなく、良好にブラケット 25 , 25 を介して壁面 W に取り付けられる。

【0020】

なお、ブラケット 25 , 25 は水平状に固設されているため、フレーム 11 をブラケット 25 , 25 に掛止することで、フレーム 11 は水平状に壁面 W に支持されることとなり、ブラケット 25 , 25 に掛止するだけでフレーム 11 は水平状となり、面倒な底面全面に亘る水平出し作業は不要となる。

【0021】

なお、フレーム 11 をブラケット 25 , 25 に掛止した状態で、フレーム 11 の前面側下部長尺材 15 或いは補強枠材 21 , 21 に予め設けられている複数のアジャスター bolt 23 , 23 をそれぞれ高さ調節して、各アジャスター bolt 23 の下端を床面 F に当接させ、複数のアジャスター bolt 23 , 23 , 23 を介し、フレーム 11 の重量を床面 F で支持すことができる。

なお、フレーム 11 の後面側上部長尺材 13 或いは後面側下部長尺材 16 は別途ビス等を用いて壁面 W に更に強固に固定させることもできる。

【0022】

このようにして壁面 W に水平状にフレーム 11 を取り付け、このフレーム 11 の上面にカウンター 4 を取り付けて、更にシンク 5 およびコンロ 7 を取り付けることができ、更にフレーム 11 内の空間内に、前方側へ引出し可能に引出し 3 , 3 を組み付けることができ、更にフレーム 11 の前面下部に前板 10 を取り付け、フレーム 11 の底側前部に遮蔽部材 8 を嵌め込んで、フレーム 11 の底側と床面 F 間の隙間及び複数のアジャスター bolt 23 , 23 をこの遮蔽部材 8 で良好に隠蔽させることができる。

なお、遮蔽部材 8 は、フレーム 11 の底側前面を全域に亘り遮蔽することのできる横長状の前面片 8 a と、この前面片 8 a の左右端側に後方側へ延びる側面片 8 b , 8 b が一体

形成されたものを用いることができる。

【0023】

このように本例では、長尺材を枠組みした骨組みとなるフレーム11を備えているため強度が大であり、軽量なキッチンキャビネット2とすることができ、しかも、壁面Wに水平状に2以上のブラケット25, 25を予め固設させておけば、このブラケット25, 25にフレーム11を掛止させて、フレーム11を水平状態に壁面Wに設置することができ、従来のような水平出し作業が不要となり、また、遮蔽部材8を底側に嵌め込んで床面Fとの隙間を良好に隠蔽させることができ、壁掛け式のキッチンキャビネット2を容易に施工することができるものとなる。

【符号の説明】

【0024】

- 1 システムキッチン
- 2 キッチンキャビネット
- 3 引出し
- 4 カウンター
- 5 シンク
- 7 コンロ
- 8 遮蔽部材
- 10 前板
- 11 フレーム
- 12 前面側上部長尺材
- 13 後面側上部長尺材
- 14 a, 14 b 上部連結長尺材
- 15 前面側下部長尺材
- 16 後面側下部長尺材
- 17 a, 17 b 下部連結長尺材
- 18 a, 18 b, 18 c, 18 d 縦枠材
- 19 仕切り縦枠材
- 21 補強枠材
- 22 レール材
- 23 アジャスター ボルト
- 25 ブラケット
- 26 固定片
- 27 載置片
- 28 立上片
- W 壁面
- F 床面